



## 虚弱な子が 「成長経路に乗る」

氏家 純一

Ujiie Junichi

株式会社 氏家経済研究所 代表取締役  
野村ホールディングス株式会社 元会長  
東京YMCA賛助会会長

### ▼YMCAキャンプとの出会い

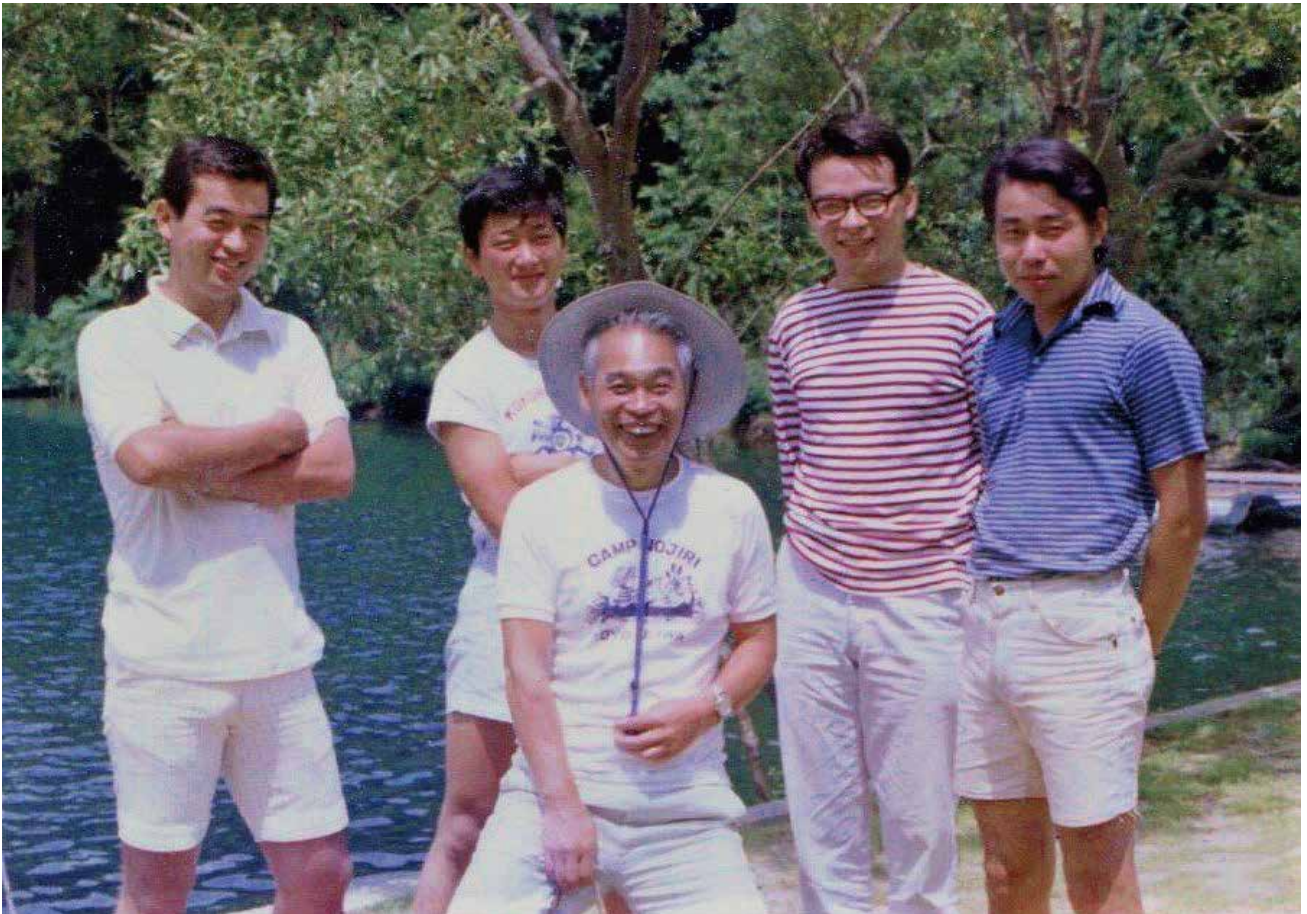
私は終戦直後に、疎開先の山形県北部で秋田県に近い真室川の村で生まれました。焼失を免れた東京の家に幸にして一年後に戻れましたが、栄養状態は悪く、次々と難病にかかり、極めて体の弱い子でした。小学校の運動会は見学、遠足もお休みです。母は近所のお医者さんに「中学生になれるといいね」と言われたそうです。いつも一人で、晩ご飯に呼ばれるまで本を読んで過ごしていました。そんな長男を心配した父はある時、自身が大学生時代に野尻湖畔で少年達の歌声をきいたのと、湖の奥のキャンプを見たのを思い出し、私をそこに預けたいと強く思ったのです。これが東京YMCAのキャンプと私の一生続く関係の始まりです。

私は12歳から大学生まで毎夏、少年長期キャンプ「野尻学荘」に参加し、人間形成の大事な時を過ごすことになりました。体がとても小さかった中学1年の夏はじめに、母親に連れられて腰の下まで引きずる大きなリュックを背負い神田美土代町のYMCAに着くと、おじさんの様な大学生が「僕が君のリーダー」と意味不明なことを言ったのを覚えています。

煤(すす)だらけになって蒸気機関車に乗り、オンボロのバスに乗り、かなり大きいエンジンボートに乗り、丸1日かかりで野尻湖の一番奥、桐久保にあるキャンプ場にたどり着いたときには、「しばらく我が家には帰れない」と大いに覚悟を決めたものでした。

## ▼野尻学荘での経験

「野尻学荘」は、1932年に始められた東京YMCAの伝統あるキャンプの一つです。中学1年から高校3年までの少年（ボーイズ）と、指導者（リーダー）、ドクター、コック、チャプレンなど合わせて80人くらいが2週間にわたって生活を共にします。キャンプ理論やプログラムは周到に研究され準備され、指導者となる大学生のボランティアリーダーたちは半年前から準備会合を重ねるといって、とても大掛かりなキャンプです。私が参加した当時は、東洋英和の音楽教師の富岡正男さんという、多くのキャンプソング「トミソング」を創った音楽リーダーがご奉仕をされていました。私は後期高齢者の今でもそれらを何曲も歌えます。



《富岡正男さん（写真中央）と氏家さん（写真右）》

中学1年生の時、私は泳げませんでした。リーダー達は今から思うとかなりのスパルタ式で泳ぎを教え、中学3年生のときには3キロメートルを超える野尻湖横断の遠泳を泳ぎきることができました。これでもう一人前の学荘ボーイズです。泳ぎきった後、浮き桟橋にぶら下がって、配られる温かくとても甘い紅茶をもらった時は、本当に誇りで胸がいっぱいでした。

泳ぎを覚えると、ヨットに乗る資格を与えてもらえます。15歳で初めて「オメガ」という名のヨットに乗りました。海水用とは大きく違う船形で静水域専用のヨットです。一本マストはとても高く帆も大きくて、船底は浅く水面を滑走してかなりのスピードを出す綺麗なヨットです。私は今でも船の操縦を好みますが、数年前に購入した船に「オメガ」と名前をつけさせてもらいました。私の最後の船になるでしょう。



## ▼大切なことを与えてくれた比類なき教育

妙高の登山ではテントでの寝泊まりもしました。自分の手先も見えないほど真っ暗な夜の山が、木々のざわめきや小動物の会話などで意外とにぎやかで、どこか優しさがあることも知りました。



《野尻学荘閉村式 1961年》

「限りなき成長」という標語のとおり、私は長い年月をかけて築かれた理論と大勢のボランティアが練りに練ったプログラムによって、野尻学荘で確実に成長することができました。泳ぎを覚え、船の操縦を覚え、体を鍛える爽快さを学び、自然、それも夜の自然が怖くないことを教わりました。聖書を開く事を学び、いくつかの聖句を覚え、そしてかけがえない友達を与えられました。雑事にかまけて野尻には50年以上通っていませんが、それでも野尻の仲間たちは、私を身内に入れてくれます。人生の早い時期に野尻学荘に出会えたことによって私は「成長経路」に乗ったと思います。YMCAキャンプは、その後の旅路に行く上で多くの大切な事を与えてくれる比類のない教育でした。

### Profile



1945年生まれ

1969年 東京大学経済学部卒業。1972年 イリノイ大学大学院修士課程修了。

1975年 シカゴ大学大学院博士課程修了。1975年 野村證券株式会社入社。

1989年 ノムラ・セキュリティーズ・インターナショナル（米国野村）社長。

1997年 野村證券株式会社取締役社長に就任。

2001年 野村ホールディングス株式会社取締役社長。

2003年 同社取締役会長。2017年春の叙勲で旭日大綬賞を受章。

2020年 株式会社氏家経済研究所代表取締役。

2020年3月まで東京女子大学理事長もつとめる。